

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 ナイス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8089

URL <https://www.nice.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 杉田 理之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 津戸 裕徳 (TEL) 045-521-6111

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	159,521	△6.9	1,130	△58.0	1,254	△52.2	3,126	56.2
2023年3月期第3四半期	171,408	3.5	2,688	△60.4	2,626	△59.1	2,001	△28.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,860百万円(141.4%) 2023年3月期第3四半期 1,599百万円(△43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	265.00	-
2023年3月期第3四半期	169.84	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	161,135	55,064	31.7	4,326.36
2023年3月期	156,722	51,390	30.6	4,070.35

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 51,057百万円 2023年3月期 48,003百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2024年3月期	-	20.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△2.7	3,200	△39.5	3,000	△39.4	4,000	5.8	338.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	12,180,419株	2023年3月期	12,170,719株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	378,995株	2023年3月期	377,357株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	11,799,050株	2023年3月期3Q	11,787,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の増加、インバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかに回復した一方、エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇の影響など、先行き不透明な状況が依然として続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年同期比6.3%減の617千戸となり、当社の事業にかかわる一戸建住宅のうち、持家が前年同期比12.2%減の171千戸、分譲が前年同期比6.3%減の103千戸といずれも減少しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,595億21百万円(前年同期比6.9%減少)、営業利益は11億30百万円(前年同期比58.0%減少)、経常利益は12億54百万円(前年同期比52.2%減少)となりましたが、連結子会社による固定資産売却益の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億26百万円(前年同期比56.2%増加)となりました。

当社グループは、2023年5月12日に公表した「中期経営計画2023」に基づき、当社のルーツで、エコマテリアルである木材の利活用の促進等、諸施策を着実に実行しております。

### セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部門	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
建築資材	建築資材	141,505	128,911	△12,594
	木材市場	248	216	△31
	計	141,754	129,128	△12,625
住宅	マンション	3,089	2,636	△452
	一戸建住宅	6,404	6,720	316
	管理その他	12,532	13,795	1,262
	計	22,026	23,152	1,126
その他	その他	7,628	7,240	△388
	合計	171,408	159,521	△11,887

### 【建築資材事業】

住宅の省エネ性能の見直しが加速する中、建材・住宅設備機器については、環境配慮型商品の提案営業のほか、工務店様によるZEHの取り組みに対するサポートを強化し、主要取引先からの受注等が堅調に推移しました。

木材については、木材の利用促進と住宅・非住宅木造建築の普及に資する総合展示会「木と暮らしの博覧会」において、森林資源の循環利用と木材のサプライチェーンにおける当社グループの取り組みを広くPRするとともに、宮崎県産飢肥杉の大径木を利用した高耐久赤身材「O b i R E D®(オビレッド)」や独自の表層圧密技術「G y w o o d®(ギュッド)」を施した国産無垢材による木質化の提案等を通じて国産材の需要拡大を図りました。プレカット事業については、受注棟数が堅調に推移したほか、ナイスプレカット株式会社滋賀工場の設備を増設し、加工対象の拡大と生産能力の増強により西日本エリアにおける供給体制の強化を図りました。また、家1棟分の木材を国産材でコーディネートする「国産材パッケージ」について工務店様への提案・普及に努めましたが、木材価格の調整局面が長期化した影響等により、売上高は1,291億28百万円(前年同期比8.9%減少)、営業利益は21億27百万円(前年同期比43.0%減少)となりました。

2023年12月13日には、大倉工業株式会社(本社：香川県)と連結子会社であるウッドファースト株式会社(本社：徳島県)の3社で、地域材を活用した構造用集成材事業に関する協定を締結しました。本協定に基づき、ウッドファースト株式会社の敷地内に構造用集成材の材料となるラミナ(挽き板)を製造する新工場を建設し、徳島県産材や香川県産材を中心とした地域材の供給拡大を図ります。

商品別売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
木材	56,654	41,919	△14,735
建材・住宅設備機器	84,851	86,992	2,140
木材市場	248	216	△31
合計	141,754	129,128	△12,625

【住宅事業】

マンション事業については、「住まいは命を守るもの」という使命のもと、1997年より免震マンションの供給に努めており、各エリアにおいて2024年3月期に売上計上予定の新築免震マンションの販売が順調に進んでおります。2025年3月期に売上計上予定の新築免震マンションについても、横浜エリアでは「ノブレス横濱鶴見ミッドパーク（59戸）」において、当第3四半期連結累計期間に供給した住戸（48戸）が全て完売となりました。

また、当社の主力エリアである「横浜・川崎エリア」のほか、宮城県仙台市、新潟県新潟市、栃木県宇都宮市、静岡県浜松市、愛知県豊田市においてエリア戦略の強化を図るとともに、既存住宅流通事業について営業体制の強化を図りました。

管理その他の部門では、住宅ストックに関連するサービスの拡充に努め、マンション総合管理事業を展開するナイスコミュニティー株式会社における修繕工事の受注等が堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上計上戸数が前年同期を下回ったものの、売上高は231億52百万円(前年同期比5.1%増加)、営業損失は1億17百万円(前年同期は営業損失5億21百万円)となりました。

① マンション・一戸建住宅の売上計上・契約戸数実績  
(売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
マンション	74	63	△11
（首都圏）	(74)	(62)	(△12)
（その他）	(－)	(1)	(1)
一戸建住宅	145	146	1
合計	219	209	△10

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
マンション	249	241	△8
（首都圏）	(79)	(134)	(55)
（その他）	(170)	(107)	(△63)
一戸建住宅	158	182	24
合計	407	423	16

② 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ8億77百万円増加いたしました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、主にマンションの建築が進み、前連結会計年度末に比べ60億77百万円増加いたしました。また、建築着工前の「開発用不動産」は、マンション用地を仕入れたため、前連結会計年度末に比べ4億64百万円増加いたしました。

「販売用不動産」合計では前連結会計年度末に比べ74億19百万円増加しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
完成販売用不動産	1,778	2,655	877
仕掛販売用不動産	4,508	10,585	6,077
開発用不動産	5,035	5,500	464
合計	11,322	18,741	7,419

(注) 第1四半期連結会計期間より、中古マンション買取再販事業の拡大等に伴い、販売用不動産の保有区分を見直しております。なお、前連結会計年度末の金額は、変更後の区分に基づいて組替えております。

【その他の事業】

その他の事業には、ソフトウェア開発事業及びシステム提供事業、一般放送事業（有線テレビ放送事業）や電気通信事業等の生活関連サービス事業、建築工事事業等が含まれております。売上高は72億40百万円(前年同期比5.1%減少)、営業利益は4億82百万円(前年同期比27.3%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ44億12百万円増加し、1,611億35百万円となりました。これは、現金及び預金、商品が減少しましたが、販売用不動産及び有形固定資産が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億37百万円増加し、1,060億70百万円となりました。これは、借入金及び引当金が減少しましたが、仕入債務が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ36億74百万円増加し、550億64百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い及び非支配株主持分の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2023年11月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,421	29,269
受取手形、売掛金及び契約資産	31,379	31,559
電子記録債権	9,949	10,938
有価証券	5,000	4,000
商品	10,023	8,202
販売用不動産	11,322	18,741
未成工事支出金	200	1,037
その他	2,656	2,378
貸倒引当金	△173	△160
流動資産合計	102,779	105,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,623	11,737
土地	27,559	28,557
その他（純額）	2,543	2,865
有形固定資産合計	41,726	43,160
無形固定資産	825	977
投資その他の資産		
投資有価証券	6,375	6,504
その他	5,096	4,606
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	11,390	11,031
固定資産合計	53,942	55,168
資産合計	156,722	161,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,203	23,489
電子記録債務	15,152	16,967
短期借入金	20,997	22,773
1年内償還予定の社債	40	20
未払法人税等	652	108
引当金	2,092	869
その他	8,682	8,853
流動負債合計	69,820	73,081
固定負債		
長期借入金	25,368	22,819
退職給付に係る負債	1,266	1,281
その他	8,876	8,887
固定負債合計	35,512	32,988
負債合計	105,332	106,070
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,426	24,433
資本剰余金	13,271	13,278
利益剰余金	12,135	14,554
自己株式	△829	△830
株主資本合計	49,003	51,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	650
繰延ヘッジ損益	12	△18
土地再評価差額金	△214	△214
為替換算調整勘定	△847	△709
退職給付に係る調整累計額	△168	△88
その他の包括利益累計額合計	△1,000	△379
非支配株主持分	3,387	4,007
純資産合計	51,390	55,064
負債純資産合計	156,722	161,135



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	171,408	159,521
売上原価	148,824	137,738
売上総利益	22,584	21,783
販売費及び一般管理費	19,896	20,652
営業利益	2,688	1,130
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	146	148
為替差益	52	141
その他	410	442
営業外収益合計	615	740
営業外費用		
支払利息	647	567
その他	30	48
営業外費用合計	677	615
経常利益	2,626	1,254
特別利益		
固定資産売却益	30	2,437
投資有価証券売却益	1	267
負ののれん発生益	-	141
段階取得に係る差益	-	81
退職給付制度改定益	253	-
関係会社清算益	12	-
特別利益合計	298	2,929
特別損失		
固定資産除売却損	71	101
減損損失	-	123
関係会社株式売却損	127	-
関係会社清算損	-	222
特別損失合計	198	447
税金等調整前四半期純利益	2,726	3,736
法人税、住民税及び事業税	494	232
法人税等調整額	85	293
法人税等合計	580	526
四半期純利益	2,146	3,210
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,001	3,126

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,146	3,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	462
繰延ヘッジ損益	△139	△31
為替換算調整勘定	△312	138
退職給付に係る調整額	△158	80
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	△547	649
四半期包括利益	1,599	3,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,456	3,747
非支配株主に係る四半期包括利益	142	112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	141,754	22,026	163,780	7,628	171,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,950	390	2,340	3,487	5,828
計	143,705	22,416	166,121	11,116	177,237
セグメント利益又は損失(△)	3,731	△521	3,209	662	3,872

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,209
「その他」の区分の利益	662
セグメント間取引消去	△15
全社費用(注)	△1,168
四半期連結損益計算書の営業利益	2,688

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	129,128	23,152	152,281	7,240	159,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,950	247	2,197	4,166	6,363
計	131,078	23,400	154,478	11,406	165,885
セグメント利益又は損失(△)	2,127	△117	2,010	482	2,492

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,010
「その他」の区分の利益	482
セグメント間取引消去	41
全社費用(注)	△1,404
四半期連結損益計算書の営業利益	1,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建築資材」、「住宅」、「その他」及び報告セグメントに帰属しない全社資産の各事業用資産について、収益性の低下等により回収可能価額まで帳簿価額を減額し、減損損失を計上しております。

減損損失計上額は「建築資材」4百万円、「住宅」10百万円、「その他」7百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産100百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「建築資材」において、持分法適用関連会社であった株式会社三友の株式を追加取得し連結子会社化したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、141百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。